

# 「大阪府教員等研修計画」活用のために

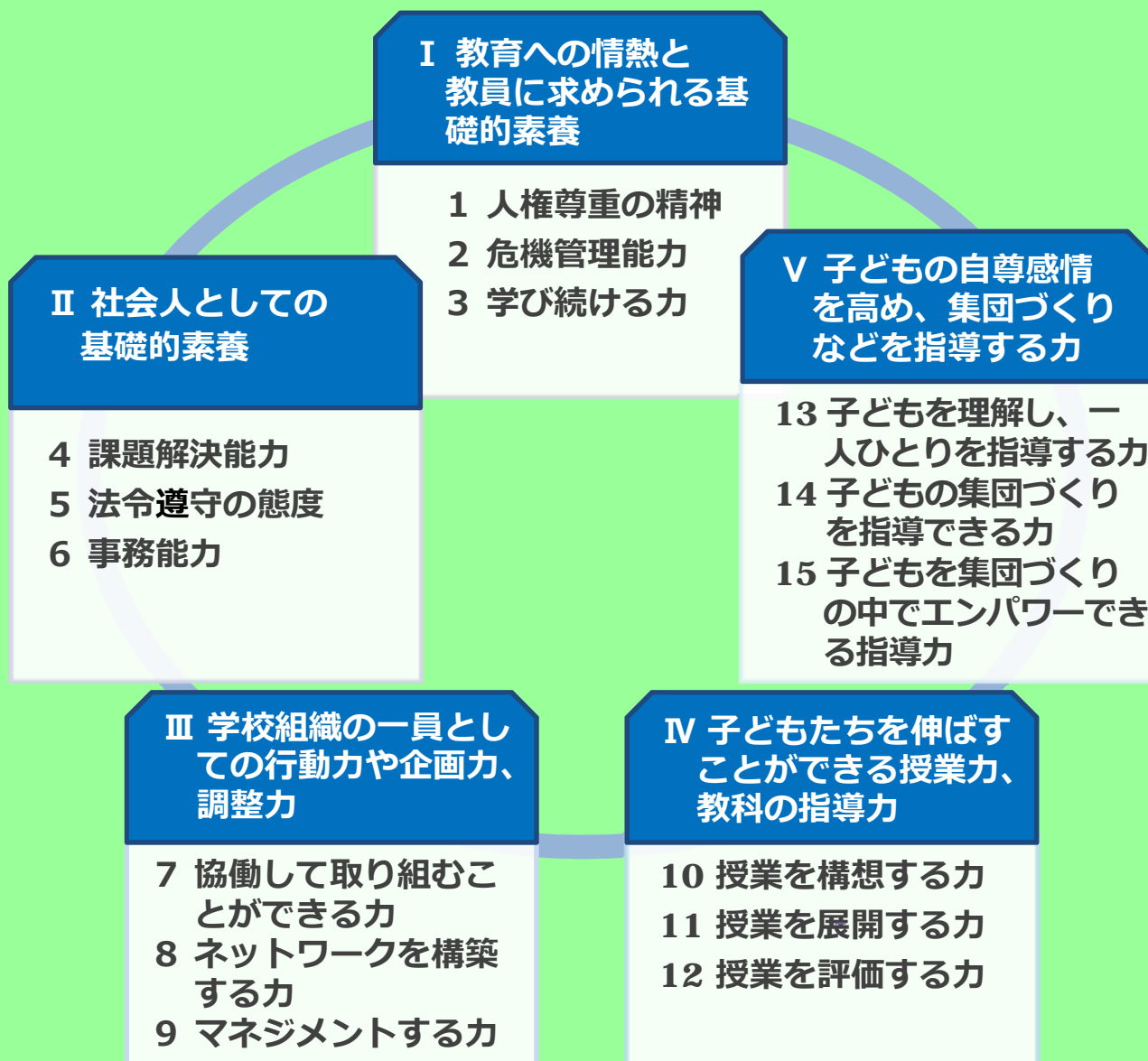
## 【Part1】「自己評価シート」活用のすすめ

資質・能力を向上させ、今日的な課題に  
自信を持って取り組める教員になろう！！

一人ひとりの教員がそれぞれのキャリア（経験や職責）に応じて計画的に研修等に取り組み、自らの資質・能力の向上を図ることが求められています。

教員に求められる資質・能力とは・・・

⇒5つの資質・能力（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ）と15の項目



（「OSAKA教職スタンダード（共通の指標）」）

# 1 キャリアステージ

15の項目について、それぞれ5段階のキャリアステージを設定しています。

第0期	第1期	第2期	第3期	第4期
採用時	初任期	ミドルリーダー 発展期	ミドルリーダー 深化期	キャリアの 成熟期

# 2 資質・能力の向上に向けた活用

## Step 1 現在の自分の力を客観的に分析しよう

～「OSAKA教職スタンダード」「自己評価シート」を活用～


## Step 2 特に高めたい項目（高めることを期待されている項目）と自身のキャリアステージを絞り込もう

## Step 3 いつまでにどのキャリアステージをめざすか、見通しを立てよう（中・長期の目標を立てる）

## Step 4 今年度の研修目標を作ろう（短期目標）

→校内外での研修やOJTを活用 ※別冊「研修一覧」及び「OJTのすすめ」参照

## Step 5 年度末に振り返ろう（次年度の取組みを考える）

 短期、中・長期においてどの資質・能力を伸ばしていくべきか、自分なりのビジョンをもつことが大切です。この「大阪府教員等研修計画」にある「自己評価シート」を用いてこれらのStepを踏み、資質・能力の向上を図りましょう。

※ 「大阪府教員等研修計画」は、「大阪府教員等育成指標」や「自己評価シート」に加え、この計画を策定した背景、大阪の教育の現状と課題、教員一人ひとりの資質・能力の向上に向けた取組みの提案、研修一覧で構成されています。

※ 「大阪府教員等育成指標」は、3つあります。

- 「OSAKA教職スタンダード（共通の指標）」（教員等に求められる共通の指標）
- 「OSAKA教職スタンダード（職に応じた指標）」  
（3つの専門領域「支援学校（学級）の教諭」・「養護教諭」・「栄養教諭」に応じた指標）
- 「スクールリーダースタンド」 （スクールリーダーとしての役割に応じた指標）

記入例2：教職10年めの教員

大阪府教員等研修計画（P27）

自己評価シート	名前	記載日 ( 年)	月 日	月 日				
所属	府立〇〇学校/市立〇〇学校		教職経験年数	年				
【専門領域】 { } { } { } 	年度初め・年度末に記入し、成果を確認							
		資質・能力	年度初め	年度末		資質・能力	年度初め	年度末
	I	人権尊重の精神	2	2	IV	授業を構想する力	2	2
		危機管理能力	2	3		授業を展開する力	2	2
		学び続ける力	3	3		授業を評価する力	3	3
	II	課題解決能力	2	2	V	子ども理解	2	3
		法令遵守の態度	3	3		集団づくり	2	2
		事務能力	2	3		エンパワー	2	2
	III	協働する力	3	3	VI			
		ネットワーク力	2	3				
マネジメント力		2	3					
② キャリア、校内での役割、高めたい資質・能力など 教職 10 年めを迎えるにあたり、学習指導、学級経営、そして子どもを理解し、豊かな集団をつくっていくための指導力を高めたい。 さらに今年度は同じ学年に初任者や3年めの教員も所属していることから、積極的に助言を行い、ともに学びながら、教員間のネット ワークを構築することにも力を注ぎたい。								
③ 中・長期の見通し ◆ 今後3年程度で以下の達成をめざす (1) 授業づくりと学習指導 ・積極的に授業を公開するとともに他の教員の授業構想への助言に努める。 ・授業研究の取組みを組織的に評価し改善していく体制づくりをめざす。 (2) 学級経営と集団づくり ・あらゆる場面で子どもの特性に合わせた適切な関わりを、他の教員に示すように努める。 ・様々な事例を学び、問題事象の未然防止のための提案に努める。 (3) 教職員の協働による組織的な学校づくり ・組織の一員として、協働できる知識や事務能力を身につけ、自ら課題解決できるようになる。 ・校内のメンターチームを活性化し、経験の少ない教員の資質向上に努める。								
④ 今年度の研修目標（短期） ◆ 授業づくりと学習指導 ・子どもが主体的に学び、確実に目標に到達するための授業のあり方を追究する。 ・子どもの学びを見とり、次の授業づくりに生かせるような学習評価の方法を学ぶ。 ・研究授業や研究協議をする際の、授業参観のポイントのあり方やその分析の仕方 について研究する。					受講予定の研修等 ・10年経験者研修 ・〇〇研修（△月） ・□□セミナー（〇月××大学）			
⑤ 成果と課題、次年度に向けて（年度末に記入）								

※大阪府教員等研修計画（P25）の様式を使って、自分の計画をたててみよう。  
<http://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/kyousyokuinsitu/index.html>

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	I 教育への情熱と教員に求められる基礎的素養			II 社会人としての基礎的素養			III 学校組織の一員としての行動力や企画力、調整力			IV 子どもたちを伸ばすことができる授業力、教科の指導力			V 子どもの自尊感情を高め、集団づくりなどを指導する力		
	人権尊重	危機管理	学び続ける力	課題解決能力	法令遵守	事務能力	協働	ネットワーク	マネジメント	授業構想	授業展開	授業評価	子ども理解	子どもの集団づくり	エンパワー
第4期	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権尊重を基盤とした学校づくりをする</li> <li>危機管理体制の確立</li> <li>学校教育目標達成のための方向性の提示</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>エビデンスに基づく課題解決に向けた適切な指針を提示</li> <li>教職員に法令遵守の指導</li> <li>正確で効率的な事務処理の指導</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>教育の情報化の推進</li> <li>学校力向上のためのネットワーク構築</li> <li>中、長期的な学校経営ビジョンの提示</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業研究体制の整備と組織的な取組みの推進</li> <li>授業改善のための体制の構築</li> <li>授業を他の学校や地域等への発信</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの特性に合わせた適切な関わりをもつ</li> <li>指導・支援の方針の提示と関係機関との連携</li> <li>集団づくりのビジョンの提案</li> </ul>		
第3期	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の人権教育及び地域啓発の企画・推進</li> <li>学校における危機管理体制の点検・改善</li> <li>組織で学ぶ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の課題の把握・解決</li> <li>法令遵守を教職員に助言</li> <li>効率的な事務処理の分担と指示</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>組織力向上のためのネットワーク構築</li> <li>学校教育目標の作成・実行</li> <li>ICTを活用した校務の効率化の推進</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の構想等や研究授業の指導・助言</li> <li>校内で師範授業の実施</li> <li>ICTを活用した授業展開の指導・助言</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども対応のロールモデルとなる</li> <li>組織的な指導体制の推進</li> <li>学校全体の実態を把握</li> </ul>		
第2期	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の人権教育の推進</li> <li>学校安全のための組織的行動</li> <li>チームで学ぶ</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学年の課題の把握・解決</li> <li>法令への深い理解</li> <li>ICTの活用を含む効率的な事務処理の助言</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>チーム力の向上</li> <li>課題解決のネットワーク構築</li> <li>学校教育目標に基づいた学級経営の実施</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTの活用等、創意工夫をした学習指導案の作成</li> <li>子どもの状況に応じた授業展開の工夫</li> <li>授業改善の推進</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもどうしのコミュニケーションを促進する</li> <li>チーム対応の中心的役割となる</li> <li>学年全体の実態の把握</li> </ul>		
第1期	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権尊重に基づいた子ども理解・指導</li> <li>学級の安全管理</li> <li>自己の専門性の向上</li> <li>情報モラル、情報セキュリティに関する指導</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの課題を把握・解決</li> <li>教育公務員として法令遵守</li> <li>ICTを活用した正確・丁寧な事務処理の助言</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>組織の一員としての自覚をもつ</li> <li>課題解決のための相談ができる</li> <li>学級経営等を行う</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども主体の学習指導案の作成</li> <li>効果的なICTを活用したわかりやすい授業の実践</li> <li>自分の授業を振り返る(評価)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>個に応じた指導、支援</li> <li>迅速な報告・連絡・相談を行う</li> <li>学級の子ども一人ひとりの実態を把握</li> </ul>		
第0期	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権意識、人権感覚の育成</li> <li>安全に関わる基礎的な知識の習得</li> <li>教育への情熱をもつ</li> <li>情報モラル、情報セキュリティの基礎的な知識の習得</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの課題の認識</li> <li>一般常識の習得</li> <li>法令への関心をもつ</li> <li>ICTを活用した資料の作成やデータの処理</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の役割を認識</li> <li>集団内で協働的に行動する</li> <li>様々な人との関わりをもつ</li> <li>学校組織を理解</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の理解</li> <li>基本的な授業展開のスキルの習得</li> <li>授業評価の理解</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの良さを発見</li> <li>他の人の個性や人格を尊重</li> <li>つくりたい学級イメージをもつ</li> </ul>		

### 豊かな人間性

何より子どもが好きで子どもと共感でき、子どもに積極的に心を開いていくことができる人

### 実践的な専門性

幅広い識見や主体的・自律的に教育活動に当たる姿勢など、専門的知識・技能に裏打ちされた指導力を備えた人

### 開かれた社会性

保護者や地域の人々と相互連携を深めながら、信頼関係を築き、学校教育を通して家庭や地域に働きかけ、その思いを受け入れていく人

## 大阪府が採用時に求める人物像